

# 図書便り

平成29年8月号

情報コーナーでは、男女共同参画に関する約1,600冊の図書の貸出しを行っています。ぜひご利用ください！



**特集**  
セクシュアルマイノリティ、LGBT、SOGI…。  
言葉はいろいろあるけれど、つまりは性の多様性。  
誰もが「ひとりひとり違う」ということ。



## 境界を生きる 性と生のはざままで

毎日新聞「境界を生きる」取材班/  
毎日新聞社/刊

毎日新聞連載記事の再構成版。品切れのため購入できない人気作。「性分化疾患」と「性同一性障害」について取り上げられており、当事者や家族、友人の声が現実を突きつける。外科手術やホルモン治療、体の性を選ばなくてはいけない苦悩、体の性と心の性を一致させられない苦悩、性別二分化が絶対であることを考えさせられる。全ページが「生きたいように生きるにはどうすればいい？」と訴えてくる。



## LGBTってなんだろう？ からだの性・こころの性・好きになる性

薬師 実芳 笹原 千奈未 古堂 達也 小川 奈津己/著  
合同出版/刊

著者は若者たちが活躍するNPO法人Rebitのメンバー。RebitのHPにも情報満載。LGBTの子どもが生活で直面する事柄を通じてLGBTとはなにで、なにが偏見で、なにが不自由で、なにが必要かをわかりやすく伝えている。LGBTに興味がある人だけでなく、親や教師など子どもの近くにいるおとなはもとより、子どもたちにも読んでもらいたい。各章にある「LGBT学生の声」が心に響く。



## セクシュアルマイノリティ

同性愛、性同一性障害、インターセックスの当事者が語る人間の多様な性

セクシュアルマイノリティ教職員ネットワーク/編著  
明石書店/刊

セクシュアルマイノリティ当事者の教職員がそれぞれの視点で執筆。性教育や人権教育に利用してもらいたいとの思いが込められている。わかりやすく明快に記述された内容が性別二元性が絶対であるという縛りをほどき多様な性への理解を促す。「セクシャルマイノリティが抱える問題は人権問題であり、社会的な差別や偏見を取り除き意識を変革していくため教育現場が粘り強く努力していこう」との思いが集約されている。



## LGBTだけじゃ、ない！「性別」のハナシ

新井 祥/著  
ぶんか社/刊

SOGI【SO（セクシュアルオリエンテーション/性的指向）GI（ジェンダーアイデンティティ/性自認）】の視点で様々なパターンが紹介されているエッセイ漫画。女、男、LGBTと分けても、すべて当てはまるのは氷山の一角であり、実は海面下にはもっと多様な身体や感覚や気持ちが生きていて、そこには多様な性がある。「ひとりひとり違っていい、性別で縛ることに意味がない」としみじみ思う。



セクシュアルマイノリティ、LGBT、SOGL…。言葉はいろいろあるけれど、つまりは性の多様性。誰もが「ひとりひとり違う」ということ。

## そして〈彼〉は〈彼女〉になった 安富教授と困った仲間たち

細川 貂々/著

集英社インターナショナル/刊

「ツレがうつになりまして」の細川氏のコミック作品。性別に因らず親との問題はあはる。ふうちゃんとやっくんはそれぞれ母の呪縛から解き放たれたいと決心し一緒に闘うことに。自分の快適を探しているうちにやっくんは女装を見つけた。「閉じ込めてきた自分を解放したい。自由を得るためにこれからは女装する」と決意表明したやっくんを受け入れ応援するふうちゃん。日々ふたりは助け合いながらラクに生きられる人生を創っている。



## LGBTを読みとく キア・スタディーズ入門

森山 至貴/著

ちくま新書/刊

「セクシュアルマイノリティについて全く知らない人も読めて、最先端の知見や現代的な諸問題にも対応できる本を目指した」と前書きにある。キア・スタディーズとは何か？「性に関する何らかの現象を、差異に基づく連帯・否定的な価値の転倒・アイデンティティへの疑義といった視座に基づいて分析、考察する学問」とのこと。コンパクトな章立てと平易な文章が学びを助ける入門書。

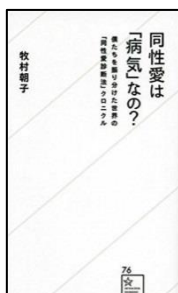


## 同性愛は「病気」なの？ 僕たちを振り分けた世界の「同性愛診断法」クロニクル

牧村 朝子/著

星海社/刊

さまざまな同性愛診断法が紹介されている。かつて人が同性を愛することは犯罪であり病気であった。非道で冗談みたいな方法が試され同性愛者をあぶりだしていた。ひとりの女性心理学者の研究により、1973年、アメリカ精神医学会は同性愛は病気でない認め、ドイツでは1994年に同性愛を犯罪と定めた刑法を廃止した。さて現代では？ いまだに同性愛診断法がある事の意味は？ そしてまだ病気扱い？ 私たち自身のあり方を考えたい。



(C)牧村朝子/星海社

## 恋する物語のホモセクシュアリティ 宮廷社会と権力

木村 朗子/著

青土社/刊

平安時代の宮廷社会の「性」について物語から読み解く。宮廷を舞台とする恋物語と性の問題は権力と結びつく極めて政治的な問題で、それらはヘテロセクシュアル、ホモセクシュアル、近親相姦、不義密通、異性装などバラエティに富んだものだった。権力のために恋をしたのか権力に恋をした果てなのか、権力から解き放たれるための恋なのか…紡がれる多くの物語。いつの世も人は権力と性から離れることはできないようだ。



### 情報コーナーの利用について

貸出：1人2冊まで、2週間（延長可）

対象：長岡京市在住・在勤・在学の人

※図書への貸出しには

「情報利用者カード」の登録が必要です。

カードの登録には、運転免許証など、

本人確認が出来るものをお持ちください。

紹介した本は情報コーナーで貸出しています。  
他にも同ジャンルの本がたくさんあります。  
職員におたずねください。

◇編集・発行◇

長岡京市女性交流支援センター

〒617-0833

京都府長岡京市神足2丁目3番1号

長岡京市立総合交流センター6階

TEL 075-963-5501 FAX 075-963-5521

E-mail: josei-c@city.nagaokakyo.lg.jp

開館時間：午前9時～午後5時（日・祝を除く）